

平成28年度石川県手話通訳者試験合格者

- ◆ 平成28年度石川県登録手話通訳者試験が12月3日〈2級は全国統一試験／1級は石川県独自の試験〉に石川県社会福祉会館にて行なわれました。合格者は以下の通り。

【2級試験】 上野 千恵さん 川上 朋子さん
 原田 景子さん 渡部亜樹子さん

平成28年度石川県要約筆記者登録試験合格者

- ◆ 同じく石川県要約筆記者試験〈全国統一試験〉も2月21日県社会福祉会館にて行われました。合格者は以下の通り。

【パソコン】 吉田 善江さん

おめでとうございます 

手話通訳者試験【1級】と要約筆記者試験【手書き】は、合格者がありませんでした。

手話通訳者・手話通訳士試験と県内の状況

手話通訳者全国統一試験（通称：統一試験）

概要：「手話通訳者」として登録するための試験 主催団体：社会福祉法人全国手話研修センター
 実施時期：毎年12月上旬（合格発表は3月下旬）

石川県の合格者数：	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
	7名	12名	3名	3名	0名	2名	4名

市町で手話奉仕員養成講座2年間（入門・基礎）、県・金沢市の委託事業で手話通訳者養成講座3年間（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）と、通算5年間学んだ上で受験するものとなっている。石川県が統一試験を導入した2010年以来、平均4名が合格している。現時点で、登録手話通訳者は89名ではあるが、昼間活動できる手話通訳者が少なく、増員が課題となっている。

手話通訳技能認定試験（通称：手話通訳士試験）

概要：「手話通訳士」資格取得のための試験 主催団体：社会福祉法人聴覚障害者情報文化センター
 実施時期：毎年10月上旬（合格発表は1月下旬）

石川県の合格者数：	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
	2名	0名	1名	0名	1名	1名	1名

議会や司法等の重要な通訳現場へ派遣されるのが、手話通訳士である。しかし、過去7年間で合格者数は平均1名程度と低迷。増員を目指し、平成29年度は試験対策講座を多めに設けたい。

手話マーク・筆談マーク決定！

全日本ろうあ連盟が、「手話マーク」と「筆談マーク」を決定しました。誰にでも一目でコミュニケーション手段がわかるように、今後さまざまな場所で使われる予定です。将来的には世界に通用するコミュニケーションマークを日本から発信し、国際標準マークとしての普及を目指しています。

①手話マーク



【対象】ろう者等、手話を必要としている人

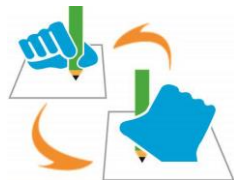
【意味】ろう者等から提示：「手話で対応をお願いします」

窓口などで提示：「手話で対応します(※)」

「手話でコミュニケーションできる人がいます」等

※「手話で対応します」の基準について：手話で会話（コミュニケーション）のできることが基本です。尚、大切な手続きや専門的相談等の時には手話通訳者が必要であることも併せてご説明をお願いします。

②筆談マーク



【対象者】筆談を必要としている人

（ろう者等、音声言語障害者、知的障害者、外国人なども含みます。）

【意味】当事者から：「筆談で対応をお願いします」

窓口等で：「筆談で対応します」

※これらのマークが社会で認知されるまでは、表示の際にマークの意味の説明を併記することを推奨します。

（石川県・金沢市委託事業）

平成29年度 石川県要約筆記者養成講座（後期課程）のご案内

- 開講日時 平成29年5月13日（土）～7月22日（土）、
*6月17日、7月8日は休講/8月～11月頃現場実習/11月25日閉講式
- 対象 平成24年～28年度要約筆記者養成講座「前期課程」修了者（白山市を含む）
- 会場 石川県社会福祉会館 他
- テキスト （厚労省カリキュラム準拠）要約筆記者養成テキスト（上・下巻）
- 申込方法 受講申込書に必要事項を記入し、県聴覚障害者センターまで提出ください。
- 提出書類 受講申込書、教材申込書
返信用封筒（長3封筒に住所・氏名を明記し82円分の切手を貼付ください。）
- 申込期間 4月3日～4月28日（必着）
- 申込先 社会福祉法人石川県聴覚障害者協会（要約筆記者養成講座担当）
〒920-0964 石川県本多町3丁目1番10号 石川県社会福祉会館内
*詳細は「石川県聴覚障害者センター」下記HPをご覧ください。
申込用紙もダウンロードできます。 <http://www.deaf.-ishikawa.or.jp/>

学びの場であり・楽しむ場である 1~3月の様子
奥能登ろう者の集い



小豆の代用品〜*〜*〜*〜*

中に入れる小豆が不足し、お手玉作りがストップしていました。小豆は、買うとなると結構高いのですよね。集い参加者が子どもの頃は、保存食としての小豆が誰の家にもあったそうです。「誰か、家に余っていない?」「なぜ無いの?普通、誰の家にも余っているものでしょ」と無いことを不思議がる人。「そういうあなたの家にも無いんでしょ」と言われては次のことばがありません。

そんなとき、スタッフの大倉さんが羽咋のJAからハトムギをもらってきてくれました。試しに詰めてみたらいい具合。今年は、ハトムギ入りのお手玉で頑張る予定です。

アイロンにまつわるハプニング〜

2月7日参加者の一人がアイロンがけを担当しましたが、全くシワが伸びません。午後になって気付いたスタッフが確認したところ「低温」にセットされていました。いつもとは違うアイロンを使ったので温度設定が分らなかったみたいです。

2月15日は別の人がアイロンマットを焦がすというハプニングがありました。お昼休みから戻ってきたら、アイロンが倒れていて、マットが溶けて穴が開いていたようです。本人は「スイッチは切った」と。たぶん温度が下がる前に、つかえて倒れたのでしょう。大事に至らなくて良かった。ホッ。

そわそわの原因〜*〜*〜*〜*

終了時刻の3時が近づいて、終礼をしてもソワソワ落ち着かない人が。

本日年金支給日。参加者の中には「年金は15日でなきゃ受け取れない」と思っている人がいます。今までも「15日は銀行行くから、集いは休む」という人がいました。そのたび「銀行は翌日でも大丈夫だよ」「だめ。銀行にお金がなくなっちゃうと困る」という会話が繰り返されてきました。「じゃ会場近くの郵便局に行こう。あそこでもお金はおろせるから」「違う。自宅近くの郵便局じゃないと無理。早く帰りたい」こんなやり取りを繰り返しながら年金支給日は過ぎていきます。

病院の体験談〜*〜*〜*〜*

今回は病院での体験を語り合ってみました。最初は敬遠してお互いの顔色をうかがっていましたが、一旦しゃべりだすと「オレも」「私も」と武勇伝が飛び出します。「MRIのでっかい機械を見たときには震えたけど、実際検査は痛くなかった」「大腸検査でカメラを入れるって聞いたときは怖かったけど、麻酔してたから何も感じないよ。少しボーっとするだけ。採血より楽ちん」等々。

身近なところに経験仲間がいたことに気が付き、その後の休憩のときも話はつきませんでした。まだ経験の無い人にとっても良い情報交換となったのではないのでしょうか。

月 日	2/23(木)	3/7(火)	3/15(水)
会 場	珠洲産業セタ 2F	珠洲産業セタ 3F	珠洲産業セタ 3F
内 容	創作活動	創作活動	創作活動
参 加 者	13人 応援隊 5人 見学 1人	14人 応援隊 5人	13人 応援隊 4人 見学 2人
送 迎	輪島市	森下さん	森下さん
	能登町	芦田さん	酒井さん
	穴水町	県センター	-----

県立中央病院からのお知らせ

い どう き せ つ か く に ん
異動の季節です。ご確認ください

い し い どう が い ら い し ん り ょ う た ん と う い
4月に医師の異動があります。外来診療の担当医につきましては、
し ん り ょ う よ う び へ ん こ う ば あ い く わ い ん な い け い じ と う い ん
診療曜日に変更になる場合があります。詳しくは院内の掲示や当院の
ほ う め い ぺ ー じ で ご 確 認 下 さ い 。

メールアドレス www.pref.ishikawa.jp/ipch/



し ゅ う じ ゃ く た い じ ゃ く て ん き ゃ い ど う お お き せ つ か に ゆ う け ん こ う ぼ け ん し ょ う
4月は就職・退職・転居など異動の多い季節です。加入している健康保険証が変更になる
た つ つ お こ な て つ つ き ち ゅ う じ ゅ し ん き ぼ う か た う け つ け じ も う
場合は、すみやかに手続きを行って下さい。手続き中に受診を希望される方は、受付時にお申
し 出 下 さ い 。

り か い き ゃ う り ょ く ね が
ご理解・ご協力をお願いします

ち ゅ う しゃ じ ょ う だ い す う か ぎ こ ん ざ つ た い へ ん め い わ く ま こ と
駐車場の台数に限りがあるため混雑しており、大変ご迷惑をおかけしております。誠に
わ け
申し訳ありませんが、ご理解・ご協力をよろしくお願ひいたします。

ビデオライブラリー

♪ 作品紹介 ♪

サイエンスチャンネル うさみみ玉手箱

ID: 4041、4042、4043

“一週間”がテーマの不思議の国に迷い込んだお姉さんが、様々なキャラクターに出会いながら冒険する科学アニメ番組。手話表現：森田明 他（制作：独立行政法人科学技術振興機構／手話・字幕）



センター人事のお知らせ

土肥麻利江職員が3月をもって退職しました

＜退職のごあいさつ＞ このセンターとは学生時代の研修でもお世話になっており、その時に「ぜひ石川県で働きたい、ろう者と一緒に仕事をしたい」と思った、私にとっての原点であり思い出深い場所でした。とても寂しいですが、今後もこのセンターで学んだことを次の職場でも活かしていきたいと思ひます。

6年間本当にありがとうございました。（土肥麻利江）

